



Shogo Omi

近江 翔伍

北海（南北海道）3年

投手/184cm72kg/右投右打

184センチでスラッとした体つき。しなやかな腕の振りに高い将来性。ストレートは130キロ台後半でも捻るように打者に迫り、変化球も制球に不安はない。期待された春はケガのためベンチ外。チームは投手層が厚く、登板過多とは無縁。体を大きくする期間となった。最後の夏をベストコンディションで迎えた時、その名は高まる。

観戦ポイント3箇条

- 長所 ミチのようにしなさら感の球質
- 課題 無理に大きくせず自然体でいこう
- 夏の期待 致世主として甲子園で成長をさせ



Miichi Ando

安藤 美希

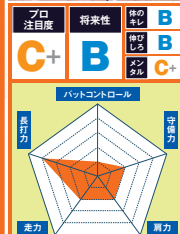
帯広三条（北北海道）3年

投手、中堅手/177cm81kg/左投左打

伝統校で進化するポテンシャルの塊。スラリと足の長い177センチの体から、140キロ前後のストレートを投げ、打てばスケールの大きな長距離砲に。幼少期からアイスホッケーに夢中で、熱望した帯広三条にアイスホッケー部がなく野球に変更。打球が飛び出すため打撃練習を制御し、大会でフルスイングを楽しむ姿が美しく映える。

観戦ポイント3箇条

- 長所 声かけ笑顔絶やさずエースで4番
- 課題 投げて打ってすべてを経験値に
- 夏の期待 4番ピッチャー安藤を聖地に刻め



Hideto Miura

三浦 秀斗

鶴川（南北海道）3年

投手/184cm87kg/右投右打

「高校生ドラフト候補」の原点を見る。粗くても「すごそう」な雰囲気は体つきのよさ、豪快さ、すてきなからにじみ出る。侍ジャパンU-18代表候補合宿の収獲は「1球のこだわり」。圧倒的なストレートでチームに勢いをもたらす、豪快な一振りで相手にダメージ。ポテンシャルしか感じない絶滅危惧の「エースで4番」は健在だ。

観戦ポイント3箇条

- 長所 心と技が潜在能力を超える時を見よ
- 課題 投は先頭、打は第1打席に勝負を
- 夏の期待 プロへいくなら投げて打ちまくれ



Yoshiki Nakaya

中谷 嘉希

北照（南北海道）3年

投手/184cm90kg/右投右打

入学直後の春、2年先輩の高橋幸佑（中日）のあとを受けた公式戦初登板から2年。1年秋に計測した149キロが一歩き、周囲の期待、勝利の重圧に苦しんだように映る。184センチ90キロと迫力ボディの制御に苦しんでも、噛み合った時にはシンプルなフォームから爆発的なストレートを投げ込むはずだ。成長期はまだこれから。

観戦ポイント3箇条

- 長所 努力結果「ニュー中谷」誕生を見よ
- 課題 せっかくの球速、投球に遊び心を
- 夏の期待 恩返しを誓う夏。やるしかない



Daito Furuiki

古城 大翔

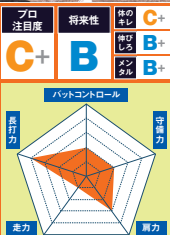
花巻東（岩手）3年

三塁手/180cm95kg/右投右打

大柄な体格を生かした長距離砲。投手との間合いに合わない、もったいない打席もあるが、フルスイングでドンビシでハマった時に木製バットからの打球は圧巻だ。1年春から出世番号「17」で試合経験を重ね、夏の岩手大会では2年連続で本塁打。4季連続出場中の甲子園では長打がないものの、昨秋の明治神宮大会では一発を放り込んだ。

観戦ポイント3箇条

- 長所 木製バットでの長打力
- 課題 ケがなく万全で臨めるか
- 夏の期待 甲子園ではまだない長打



Akihiro Kitaguchi

北口 晃大

八戸学院光星（青森）3年

投手/187cm90kg/右投右打

均整のとれた体格をもつ長身の本格派右腕。センバツで147キロを計測し、ポテンシャルの高さを示した。球速がありながらもスピードに頼ることなく、変化球とのコンビネーションも重視した投球を見せる。センバツまでは打線の中心も担ったが、春からは投手に専念。夏にはリミッターを外した“本気”の投球を見てみたい。

観戦ポイント3箇条

- 長所 安心感を与えるマウンドさばき
- 課題 考えすぎず、時には大胆に
- 夏の期待 相手の対策をかわす投球

